



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

東

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所
 コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750
 経理財務本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	33,147	6.6	936	△26.9	125	△71.5	84	△79.1	△124	—
2026年3月期第1四半期	31,100	5.7	1,281	0.2	439	△6.1	404	△13.6	78	△54.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △98百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 89百万円(△52.8%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△4.27	—
2026年3月期第1四半期	2.69	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	79,294	17,136	21.4	581.58
2026年3月期	80,100	17,413	21.6	591.38

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 16,998百万円 2026年3月期 17,285百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期 純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,800	3.0	2,352	△21.4	700	△45.6	570	△53.1	—	—	—
通期	136,000	2.9	6,420	△4.6	3,000	△9.4	2,700	△15.4	1,000	△6.6	34.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)(株)グランツリー、除外 1社(社名)(株)クライマー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	30,642,600株	2026年3月期	30,642,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,414,124株	2026年3月期	1,414,124株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	29,228,476株	2026年3月期1Q	29,228,528株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定について、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、継続する物価上昇や中東地域を巡る地政学リスク、金融資本市場の変動等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する医薬品・調剤薬局業界においては、医療費適正化に向けた制度改革が継続する中、地域医療を支える薬局機能の高度化や医薬品の安定供給、デジタル技術を活用した医療連携の推進などが求められています。一方で、薬価改定や人件費・物価の上昇に加え、医薬品の供給環境の変化への対応など、経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような事業環境の下、当社グループは、2025年10月に長期ビジョン「まちのあかりビジョン2035」を策定し、2026年5月にはその実現に向けた第7次中期経営計画を公表しました。誰もが自分らしく、安心して暮らしていくための医療インフラを構築し、生涯を見守る「まちのあかり」として健やかな暮らしに貢献することを目指します。

当社グループは地域医療の課題解決をリードする存在を目指し、「まちのあかりビジョン2035」において、報告セグメントとは異なる経営戦略上の区分として、「メディカル領域」「メディカルサポート領域」「メディカルサプライ領域」の3つの領域を設けております。第7次中期経営計画では、各領域の役割に応じた戦略を推進し、サービスの高度化と事業間連携の強化に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、当社グループのサービスを利用するサポート先の拡大に取り組んだものの、人件費の増加に加え、顧客管理基盤の統合や既存システムの改善に伴うシステム関連費用の増加等により、売上高33,147百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益125百万円(同71.5%減)、経常利益84百万円(同79.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失124百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。変更の詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業は、第7次中期経営計画で掲げる3つの領域(メディカル領域、メディカルサポート領域、メディカルサプライ領域)の中核を担う基幹事業です。地域医療を支える医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、薬局の経営支援、医薬品の製造販売及び物流業務を展開しております。

メディカル領域においては、地域薬局の新規出店及びM&Aを推進するとともに、患者一人ひとりに寄り添う医療サービスの充実に取り組みました。当第1四半期連結累計期間中にモール型店舗1店舗を含む地域薬局2店舗を新規出店したほか、M&Aにより地域薬局1店舗を取得しました。一方で、1店舗の閉鎖を行い、2026年6月30日時点の店舗数は、地域薬局474店舗、ケアプランセンター1店舗、ドラッグストア7店舗となりました。

メディカルサポート領域においては、サポート先の拡大を図るとともに、地域単位での医薬品在庫情報共有サービスや各種研修・セミナーの開催、LINEを活用したかかりつけ薬局化支援、在宅導入支援や地域支援・医薬品供給対応体制加算の算定支援など、薬局の運営や機能強化に資するサービスの充実に取り組みました。

メディカルサプライ領域においては、医薬品の製造販売及び物流機能の強化に取り組むとともに、新規取引先の開拓や取扱品目の拡充を推進し、2026年6月30日現在の医薬品の製造販売における取扱品目数は56成分130品目となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は売上高32,183百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益857百万円(同19.5%減)となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、薬局の立地開発や建物の賃貸・管理業務、医師開業支援、医療施設等の開発・設計施工監理・運営、サービス付き高齢者向け住宅の運営を行っております。

設備工事案件の受注件数が前年同期を上回ったこと等により、売上高773百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益31百万円（同34.5%増）となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅全4棟の2026年6月30日現在の入居率は87.2%となりました。

③その他事業

本事業に関しましては、給食事業及び訪問看護事業を行っております。

2026年4月に高齢者施設・病院向け給食受託事業の一部を譲渡したことにより、売上高389百万円（前年同期比41.7%減）、営業損失34百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は79,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ805百万円減少しました。

流動資産は30,992百万円となり、前連結会計年度末に比べ808百万円の減少となりました。主な要因は、商品が増加したものの、現金及び預金並びに売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は48,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円の増加となりました。

一方、負債の部においては62,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ527百万円の減少となりました。流動負債は35,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ849百万円の増加となりました。主な要因は、賞与引当金が減少したものの、買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債は26,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,376百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が減少したことによるものであります。

また、純資産の部においては17,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円の減少となりました。主な要因は、期末配当の支払等により利益剰余金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月8日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,743	7,281
売掛金	13,686	12,502
債権売却未収入金	774	803
調剤報酬等購入債権	489	442
商品	7,378	8,251
原材料	17	7
仕掛品	0	0
貯蔵品	72	87
その他	1,656	1,629
貸倒引当金	△17	△14
流動資産合計	31,800	30,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,787	12,683
土地	9,715	9,810
建設仮勘定	60	162
その他（純額）	6,679	6,552
有形固定資産合計	29,242	29,209
無形固定資産		
のれん	8,507	8,444
ソフトウェア	932	1,032
その他	56	53
無形固定資産合計	9,496	9,531
投資その他の資産		
投資有価証券	664	780
差入保証金	4,541	4,487
繰延税金資産	3,331	3,295
その他	1,043	1,018
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	9,560	9,561
固定資産合計	48,299	48,302
資産合計	80,100	79,294

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,448	14,215
短期借入金	9,761	9,842
1年内返済予定の長期借入金	6,028	5,779
未払法人税等	663	132
賞与引当金	1,611	828
役員賞与引当金	24	28
その他	4,054	4,614
流動負債合計	34,592	35,441
固定負債		
長期借入金	16,150	14,887
役員退職慰労引当金	551	550
役員株式給付引当金	333	341
退職給付に係る負債	4,599	4,589
その他	6,459	6,347
固定負債合計	28,093	26,716
負債合計	62,686	62,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	946	946
利益剰余金	14,714	14,410
自己株式	△891	△891
株主資本合計	16,897	16,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	96
繰延ヘッジ損益	0	-
退職給付に係る調整累計額	316	308
その他の包括利益累計額合計	387	404
非支配株主持分	128	137
純資産合計	17,413	17,136
負債純資産合計	80,100	79,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	31,100	33,147
売上原価	18,147	19,912
売上総利益	12,953	13,235
販売費及び一般管理費	12,513	13,110
営業利益	439	125
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
業務受託料	14	18
設備賃貸料	36	31
補助金収入	15	47
雑収入	19	18
営業外収益合計	89	119
営業外費用		
債権売却損	33	24
支払利息	72	109
持分法による投資損失	13	22
雑損失	4	4
営業外費用合計	123	160
経常利益	404	84
特別利益		
固定資産売却益	11	0
事業譲渡益	1	-
特別利益合計	13	0
特別損失		
固定資産売却損	5	-
固定資産除却損	1	2
店舗閉鎖損失	6	4
事業譲渡損	-	7
その他	-	0
特別損失合計	13	15
税金等調整前四半期純利益	405	69
法人税、住民税及び事業税	143	147
法人税等調整額	170	38
法人税等合計	314	185
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90	△115
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	78	△124

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90	△115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	26
繰延ヘッジ損益	△1	△0
退職給付に係る調整額	1	△7
その他の包括利益合計	△1	17
四半期包括利益	89	△98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77	△107
非支配株主に係る四半期包括利益	12	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,840	592	667	31,100	—	31,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	154	0	165	△165	—
計	29,850	747	667	31,265	△165	31,100
セグメント利益 又は損失(△)	1,065	23	△6	1,082	△642	439

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△642百万円には、セグメント間取引消去98百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△741百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,169	590	388	33,147	—	33,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	183	0	197	△197	—
計	32,183	773	389	33,345	△197	33,147
セグメント利益 又は損失(△)	857	31	△34	854	△729	125

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△729百万円には、セグメント間取引消去95百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△824百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社連結子会社である株式会社なの花九州は、2026年4月に高齢者施設・病院向け給食受託事業の一部を譲渡いたしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして記載していた「給食事業」について、量的な重要性が乏しくなったため「その他事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	573百万円	598百万円
のれんの償却額	268百万円	212百万円